

令和5年度 全国学力・学習状況調査スピーキングテストの結果と感想(第3学年対象)

1 平均正答率

国語	平均 正答率	学習指導要領の構成		評価の観点		平均 無解答率
		やり取り	発表	知識・技能	思考・判断・表現	
第三中	26.0	28.3	14.4	29	20.3	7.9
全国	12.4	14.5	4.2	13.9	10.1	19.4
全国比較	+13.6	+13.8	+10.2	+15.1	+10.2	-11.5

2 正答問題数別の割合(全5問)

	0問	1問	2問	3問	4問	5問
第三中	37.5	27.5	16.9	8.8	6.9	2.5
全国	63.1	20.9	9.6	4.2	1.8	0.4
全国比較	-25.6	+6.6	+7.3	+4.6	+5.1	+2.1

3 感想

●本校は全国と比較して13.6ポイント上回り、2倍以上の正答率となりました。しかし、正答数0問の割合が本校で37.5%、全国では63.1%いるなど、全国的に正答率が低いということが顕著に表れました。実数にすると、本校の3年生の人数から計算して60名が1問も正解しなかったということですが、全国平均で計算すると101人が1問も正解しないということになります。

●それに対して、本校では、4問正解した生徒数は11人いたという計算になりますが、全国平均で計算すると2～3名しかいないということになります。もっと言うなら、本校の全問正解者は4人いたという計算になりますが、全国平均で計算すると0～1人ということになります。

●また、本校で1～3問正解した生徒数は85～86人いたということになりますが、全国平均で計算すると55～56人に止まるということになります。

●これらのように我が国として非常に多くの課題を残したスピーキングテストではありますが、その中になって本校が優秀な成績を収められたのは、日常の英語の授業においてペアを作ったりして英語でのやり取りに力を入れていたり、全員の前でプレゼンソフトを使いながら発表する学習を多く取り入れていたからだと思います。そして何より、それらの学習に子どもたちが前向きに取り組んできた結果だと思います。